

平成23年度 第14回 役員会議事要旨

日 時 平成23年10月26日（水） 10時28分～12時02分

場 所 学長室

出席者 学長，瀬口理事，岩本理事，緒方理事

欠席者 中島理事，宮崎理事

オブザーバー 川上監事，向井監事 他

○ 学長から，前回の役員会議事要旨の確認依頼があった。

【 審議事項 】

（ 一括審議事項 ）

学長から，本日は，10月12日開催の役員会で協議し，10月21日開催の教育研究評議会において，審議了承いただいている8案件について，一括審議する旨と各案件の概要について次のとおり説明があり，審議の結果8案件すべて了承された。

(1) 佐賀大学全学教育機構規則の一部改正について

本件は，全学教育機構規則に規定する部会を発足させることに伴い，所要の改正を行う案件である旨。

(2) 佐賀大学全学教育機構教員選考規程の制定について

本件は，全学教育機構における専任及び併任教員等の選考に関し，必要な事項を定める案件である旨。

(3) 佐賀大学医学部規則の一部改正について

本件は，保健師助産師看護師学校養成所指定規則等の一部改正に伴い，看護専門教育のカリキュラムを見直すため，所要の改正を行う案件である旨。

(4) 鳥栖市との相互協力協定締結について

本件は，シンクロトン光応用研究センター等が所在する鳥栖市と相互協力のための協定を締結し，本学の更なる社会貢献の拡充を目指す案件である旨。

(5) 株式会社サガン・ドリームスとの連携協力協定締結について

本件は、サガン鳥栖を運営する株式会社サガン・ドリームスとスポーツを通じた地域づくりに関し、協力協定を締結し連携を強化することで、双方の取組の更なる深化・拡充を目指す案件である旨。

(6) 海浜台地生物環境研究センターに係る評価結果について

本件は、海浜台地生物環境研究センターの5年の時限が平成25年3月末までであることから、役員会指針に基づき実施した、その評価結果の報告内容と同センターの今後を、農学部附属資源循環フィールド科学教育研究センターと統合し、農学部附属の新センターとする「B案」に決定する旨。

(7) 「産学・地域連携機構（仮称）構想（案）」について

本件は、再編検討委員会で策定された両組織の機能及び業務を再構築する「産学・地域連携機構（仮称）構想（案）」に関する旨。

(8) 国立大学法人佐賀大学産学・地域連携機構（仮称）設置準備委員会要項の制定について

本件は、産学・地域連携機構（仮称）の設置目的や機能などの必要な事項を検討するために、本設置準備委員会要項を制定する旨。

【 報告事項 】

(1) 平成23年人事院勧告について

人事課長から、9月30日に示された平成23年人事院勧告は、1) 期末・勤勉手当は改定見送り、2) 民間給与を上回るマイナス較差(△0.23%)を解消するための俸給表は引下げ改定、3) 給与構造改革における経過措置額は、平成24年度は2分の1(上限1万円)を減額し、平成25年4月1日廃止を実施するなどの内容であるが、今年度は、東日本大震災からの復興財源捻出に向け、国家公務員給与減額支給措置の臨時特例法案の成立を優先するため、10月25日に開催された政府の給与関係閣僚会議で見送る方針が確認され、同月28日開催予定の閣議で正式決定される見込みである旨の報告があった。

また、国家公務員の定年を段階的に65歳に引き上げるための国家公務員法等改正の意見の骨子についても併せて報告があった。

(2) 附属病院勤務医師等に対するインセンティブ給与支給について

人事課長から、附属病院医師等の処遇改善を図るため、前年度において実施したインセンティブの給与支給について、今年度は、上半期・下半期の2回に分けて実施すること及び前年度の支給実績等から、支給項目、支給対象、支給基準などの見直しを行い、併せて総人件費改革内での措置とすることが、6月開催の役員会及び経営協議会等で審議了承されているため、上半期分については10月に支給した旨の報告があった。

(3) 平成22事業年度財務諸表の承認について

財務課長から、平成23年6月29日付けで提出した、平成22事業年度財務諸表について、10月14日付けで文部科学大臣から承認通知があった旨の報告があった。

(4) 第30回本庄地区住民との親善球技大会について

総務課長から、平成23年11月26日(土)例年どおり、本庄地区住民と親善グラウンド・ゴルフ大会を実施する旨及び参加の案内依頼があった。

(5) その他

特になし。

【 その他 】

○ 10月11日開催の部長会での懸案事項等の報告について

総務部長から、大学全体及び総務部の懸案事項として、総人件費改革対応、教育研究組織及び事務センター、IT活用事務改善等を考慮した事務組織の見直し等を検討課題としている旨の報告があった。

財務部長から、財務部の懸案事項として、決算剰余金、目的積立金等を考慮した予算編成、宿舍整備及び不正経理の問題等を検討課題としている旨の報告があった。

環境施設部長から、環境施設部の懸案事項として、病院再整備、経年25年以上の建物対応、マスタープランによる整備及びスペース利用等を検討課題としている旨の報告があった。

学務部長から、学務部の懸案事項として、教養教育における教員の意識改革、若手職員の自主的勉強会、カルト問題及び授業料免除に係る学生支援、入試問題のミス防止対策及び就職支援対策等を検討課題としている旨の報告があった。

学術研究協力部長から、学術研究協力部の懸案事項として、鳥栖市等との協力協定、認知症サポート等の社会貢献、時限センター等の対応による研究貢献、国際交流推進センターの運営及び附属図書館の集密書庫の整理等を検討課題としている旨の報告があった。

医学部事務部長から、医学部事務部の懸案事項として、大学院の医学系研究科の入学定員の確保及び患者サービス課の診療報酬請求担当事務職員の強化等を検討課題としている旨の報告があった。

○ 年頭挨拶における課題等について

学長から、年頭挨拶の課題を、各理事室及び各部へ提出するよう依頼があり、各学部長へも依頼している旨の報告があった。